

お取引先と連携した情報セキュリティ向上策

富士通グループの事業活動は、その付加価値の基となる様々なソフトウェア、サービス、物品、部材などを提供していただいているお取引先に支えられています。

この中において、富士通グループとお取引先とは、FUJITSU Way企業指針に基づき、相互に切磋琢磨を積み重ねることで長期にわたる信頼関係を構築してまいりました。良きパートナーとして、お互いが自己の力をより一層発揮し、共に存続・繁栄できるような関係を築いています。

富士通グループは、お取引先と共に「情報セキュリティ事故撲滅」を掲げ、教育、啓発、監査、情報共有などの施策を実施し、情報セキュリティの維持、強化に向けた活動を推進しています。

2015年度の主な情報セキュリティ推進活動

教育・啓発活動

■ お取引先向け情報セキュリティ研修会

2016年より本格運用されるマイナンバー制度への対応のため、「受託者用情報管理要領ガイドライン（富士通グループとお取引先間の情報セキュリティに関する取り決め）」を2015年9月に改定しました。2015年の研修会は、この改定内容の説明のほか、標的型攻撃事例および情報リテラシー向上の重要性をテーマとして実施しました。



- 2015年度 約950社／約1,300名受講（仙台、東京、川崎、千葉、名古屋、大阪、高松、福岡、沖縄）

■ お取引先向け出前研修会、出前ワークショップ

お取引先からの要請で講師を派遣し、お取引先の従業員を対象とした集合形式の研修会（出前研修会）を実施しました。

また、リーダークラスのスキルアップを希望するお取引先に対し、リーダーとしての役割の再認識やリスク対応スキルの向上を目的としたグループ演習形式の研修会（出前ワークショップ）を実施しました。

- 2015年度
 - ・ 出前研修会 約40社／約1,400名受講
 - ・ 出前ワークショップ 約10社／約170名受講

お取引先選定、状況評価・確認

新規のお取引先選定では、情報セキュリティ状況を確認すると共に、業務委託時の情報セキュリティ管理、個人情報の取り扱いに関する要求事項などにつき、契約で合意を得られるお取引先に限定しています。

既存のお取引先についても、情報セキュリティ対策状況の書面調査を毎年実施しており、個人情報保護法などの要求事項に基づいて委託先を選定しています。なお、この書面調査の結果は、全体状況と評価ツールを各お取引先にフィードバックし、自社で改善への取り組みが実施できるようにしています。

さらに、毎年お取引先を選定のうえ直接訪問し、契約に基づいた情報セキュリティの遵守状況について点検を行っています。点検の結果、是正が必要な場合には、是正計画の立案・実施指導を行っています。

- 2015年度監査 約190社

情報共有・現場支援ツールの提供

情報セキュリティに関する最新情報の共有・啓発を目的とし、2009年より「情報セキュリティの広場」「啓発ポスター」をお取引先に提供しています。

また、各プロジェクトの情報セキュリティ要求事項を、開始時に合意し、従事者全員で共有するため、「プロジェクト情報セキュリティ計画書」を提供し、課題の早期発見、対応を図っています。その他にも、自主点検ツールとして「遵守状況チェックシート」を提供しています。

海外のお取引先対応

お客様の海外進出支援、開発リソースの確保、国内のお客様の開発費抑制やグローバル製品への対応などを目的とし、海外のお取引先と連携したビジネスが増加しています。

富士通では、国内のお取引先と同様、海外のお取引先に対しても、お取引先の国事情に合わせて受託情報の取り扱いを規定した「受託者用情報管理要領」を締結し、定期的に情報セキュリティ監査、情報セキュリティ教育を実施しています。

■ 2016年1月発行

「情報セキュリティの広場」

